

めだかの学校だより

令和6年8月1日

第124号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一二四回 校長 大橋 町代

「いのち」

この地域には多くの命の営みがあります。自宅の庭には無数の蟬や虫、そして鳥たちも訪れてくれます。みんなみんな一生涯生きています。

2年ほど前より保護猫を飼い始め、やがてその猫につられて2匹の野良猫がやってきました。その猫たちは今では庭と家の中との半々の生活を始めています。

この猫たちも、たったひとつのかけがえない命で、懸命に生きようとしています。愛しさを覚えます。

今この日本でも毎日のように事件が起き、人の命がなくなってしまうことがあります。命の重さへの意義が薄くなってきたと感じます。

生きているものは一つしかない命を持っています。でも、私たちはその命

をいただいで生きています。

私の子供が幼いときには虫を平気で殺したり残酷なことをしました。これは無知から来る行動で、その虫も生きていて命があることなどをじっくりと話をしたら以降はしなくなりました。

今、事件をどう防ぐかを議論しますが、その前に事件を起こす人がいなくなるような人育てをするのが基本だと思えます。

道徳事業の復活も必要ですね。私たちは自分の命を使って毎日を生活していますから。

先日中学時代の同窓会をしました。入学時487人でしたが、100人が亡くなり、出席は110人。92歳になる恩師も参加してくださり、私たちは力強い大きなパワーをいただきました。

めだかの仲間たちスペースともに元気に命を増やしていきましょう！



めだかの学校伝言板

第124回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／大橋町代

教頭／服部守孝

用務員／伊藤英雄

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっていません。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和6年9月7日(土) 正午～

受付／大場敬子・大島たまよ・榎原幸雄(後見人)

32期通年テーマ：

『♪♪めだかは続くよ どこまでも…』

今回のテーマ：

《暑さのり越えて…》

<時間割>

●期初特別授業 社会

「報徳と鈴木藤三郎と台湾と…」村松達雄 先生

※質疑応答も用意しています。

●給食は取り寄せです。

PM3:15 閉校

めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

■「第20回全国まちづくり交流会 in津別町」の開催について

毎年全国を舞台に開催されている「全国まちづくり交流会」。今年は北海道津別町で開催されます。2003年から始まり、北は北海道佐呂間町、南は与論島、震災後の宮城県鳴子町、全村避難解除後の福島県飯館村などで開催され、2013年には第11回目の交流会を森町で開催しました。コロナ禍で開催が一時中断しましたが、四国馬路村、与論町と再開し、第20回を津別町で開催することになりました。しかしながら残念なことにはこの交流会もこの津別町での開催を最後とすることも模索されています。全国で頑張っているまちづくりの仲間たちとの交流や森町で会った懐かしい顔との再会を求めて、この機会によかったらご参加下さい。

日程は9月27日(金)～29日(日)の3日間、27日には前夜祭、28日には津別町内探索ツアー、歴代開催地リレーメッセージ、大交流会が開催されます。費用は参加費が13000円、(宿泊代10500円×2日、ツアー代別途)です。申し込みは北海道つべつまちづくり(株)。
TEL:0152-77-6081。

メール: tsugetsu.20@gmail.com まで。
最終日には道東を巡るオプショナルツアーも予定されています。私は報徳や鈴木藤三郎ゆかりの地を巡りながら参加を予定しています。

■第40回地域づくり団体研修交流

宮崎大会11月1日～3日まで開催

第40回地域づくり団体研修交流会宮崎大会が11月1日(金)から3日(日)まで、「よってん！みて！きて！日本のひなた宮崎県」と銘打って開催される。

11月1日(金) 18:00～20:00 全体交流会(宮崎市サ・メイビア宮崎)、11月2日(土)～3日(日) 午前中・各分科会。11月3日(日) 13:30～15:30 全体会(宮崎市KITEENビル8階コンベンションホール)。分科会は8つのブロックがある。第1(高千穂郷・椎葉山)、第2(延岡)、第3(日向・東臼杵)、第4(児湯)、第5(宮崎・東諸県)、第6(西諸県)、第7(都城・北諸県)第8(日南・串間)。

大会参加費4000円、全体交流会費6000円、分科会参加費18000～21000円(宿泊・交流会費他)。申込み受付は8月31日(土)まで。参加希望者は、開催募集要項パンフレットが、事務局に届いているのでご連絡下さい。コピーして送ります。
(0539-62-6691パラメダカ)

■本州1周クルーズ船に乗って…

5月25日から6月4日まで、ダイマモンドプリンセス本州1周クルーズに、仲間8名で行ってきました。台風一号が発生しましたが影響もなく、快適な旅でした。乗客は日本人550名余、その他40カ国の外国人2200名余、そして70カ国1100名ものクルーズのみなさんで楽しいクルーズでした。毎晩のフルコースディナー、シアターでの観劇等で賑やかな時間、あつという間の11日間でした。

多くの想い出も出来、健康の有難さにも感謝しています。船の中では、各国の友達と交流もでき平和な世界を感じました。

(白尾恂メダカ)

『人・ひと・ヒト…だより』

●秋田県鹿角市の奈良努メダカ。演劇に携わって30年。昨年度の秋田県芸術選奨特別賞「ふるさと文化賞」という権威ある賞を県知事からもらいました。50年ぐらいつながりな当市からは2名だけで、団体としては私が所属する市民劇団「演劇を楽しむ会」が初受賞。今度はキャストを降り、スタッフとして裏方で支えていきたい、だって。今年で2年目になる「NPO関善賑わい屋敷」の理事長として地域づくりに関わっている、とも。凄いですねがだね。おめでどう！。また遊びに行きたいね。

●東京都東久留米市の菅原欽一メダカ。老力は最大の防衛力だと思っています。老人は武器を取って戦うことは出来ないが、挫折と失敗を繰り返してきた老人の知恵は誤った選択に警告を発することが出来るからです。「めだかの学校」が成熟したおじさんたちの集まりであることを祈念しています、だって。おばさんもいるよ。なんせ、おじさん、おばさん、パワー全開でございますれば、ハイ(笑)

●浜松市浜名区の奥宮教生メダカ。こんにちには、いつもありがとうございます。「エライ」には五つありますが、榊原さんとめだかは「立派」というエライです。(笑) さらに継続されますことを祈念しています。僭越ながらエッセイの最新を一部同封させて頂きます。ご笑読下さいませ、だって。400字原稿用紙5枚の『小さな悦び』というエッセイ。「体調管理の一環として『速歩』を始めてから六年になる。キツカケはその前年、地域の美化活動をしていた時の思わぬ怪我である。』から始まる…怪我を克服して自然の中の歩き、人と人との

出会いと語らいの楽しさ…」語る。いいねえ、自然の中で歩きや語らい、まさに最高だね。私は速歩ならぬタツの横歩きだけ。(笑)

●千葉県習志野市の市原実メダカ。よき仲間づくりを継続していただきたいと思えます。高齢となりますと、なかなか外出も困難となります。人と会うことは一番の刺激となります。私は千葉県住まい。あまりに遠く、参加の機会が少なくなっていますので…。晴耕雨読の人となっています。身辺整理も心がけています。だって。市原さんは81歳。まだ若いですよ。確かに登校するのは難しいかも。お手紙で「めだか便利」への出席はいかがですか。お待ちしています。

●浜松市中央区の内山ゆきゑメダカ。ひたすら環境活動を実践実行しています。無農薬推進の事業を続けています。土壌微生物活性化と腸内微生物活性化で、植物、動物や人を楽しく元気にしています。笑う地球をつくります。だって。いや～頑張っていますね。NPOすまいるむらの代表や、腸活の店古民家コミュニティカフェ浜松南・星座館代表、一般社団法人120学会副理事などもやっている。元気な女性企業家ですぞ！ハイ。

●小田原市の溝口久メダカ。5月15日大相撲観戦、5月16～20日台湾、5月23日ゴルフコンペ「金次郎カップ」、5月24日埼玉県北本市役所にて講演、5月25日小山町にて仕事、5月26日小山町民を我が家に招待、5月29日小山町でプロボーザル審査会、5月30日、31日茨城県境町地域ビジネス大学院、6月3日静岡県立大で講義、(中略)、そして6月13～17日フランス、ルマン島出張…こんな具合で過ごしている。人生最高の時をこのところ継続しています。めだかの学校の皆様で、小田原

の様子見にどうぞお越し下さいませ、だって。いや、まさに日程びっしり。今はどこにいることやら…(笑)。のりにのってまゝ、とか。ハイ。

●磐田市の今村純子メダカ。いつもお世話様でありがとうございます。最近は何々不安定な自然現象で食事も着服も落ち着かなくて困ります、だって。確かにこの頃の気象現象は落ち着かないですね。人間も氣候に振り回されている、ですね。

●磐田市の山下愛仁メダカ。いつもめだかの学校より楽しみにしています。今回は特に花井さんのコメント、関心を持って読みました。デモクラシーの時代、場合によっては政治が混乱しますが、専制政治よりはマシです。自律するためにも自由が絶対的に腐敗(アクトン卿)します。デモクラシーでも1つの集団が長く政権を担当すると、これまた弊害がありますね。また雨の季節がやってまいります、だって。いや、はや今の政治屋さん(?)、国民視線はどこへいったのでしょうか。それとこの頃の氣候変動：台風の季節、危機戦略監の山下メダカに頼ること大です。国の方は城内実メダカと、小山展弘メダカに頑張ってもらって、私たちは国民として心しましように、ですね。

●磐田市の八木義弘メダカ。めだかの学校は大人のフリースクールですかね?、だって。そうかも。(笑)。

●浜松市中央区の中村明男メダカ。「めだかの学校」も30余年。コロナ禍で世の中も様変わり。いろいろ仕切り直しのタイミングでしょうね。個人的にも孫が今春より首都圏へ1人立ち。ソロバン、絵画、受験サポートのアッシー君も卒業。ちよつと穴が空いた感じ。わが身も80代突入。どう生きべーか大事な時機ですね。1日1日を

大切に精一杯生きるかな。だって。オーツ、ここにも高齢を楽しむ100歳仲間がいる。こりや、めだかの学校200回も夢じゃあないね。(笑)。

●浜松市中央区の水島加寿代メダカ。いつも大変な準備ありがとうございます。一日は取材になってしまっただけで何ええとになってしまいました。智子さんにお会いしたかったのに残念です。よろしくお伝えくださいませ。しずさんも現状維持で過ごしてあります。ありがとうございます。また皆さんに会えるのを楽しみにしていますね、だって。しずさんと一緒にどうぞ、待ってまゝ。

●浜松市天竜区佐久間町の山田修平メダカ。この冬のコロナの感染で、体調に一月ほど影響が出てお茶の作業が遅れて大分手抜きしてしまいました。幸いそれほど影響がなくてほっとしています。新聞には、コロナ薬七割未使用とか、死者が1万6千とか見出しが載っていて言葉がありません、だって。国の施策のなんとおそまつのことか、未だにコロナが収まっていないのね。

●磐田市の富田久美子メダカ。たっぷり食べて、たっぷり眠って…、たっぷり遊んで…(今務めている四季の風保育園の目標)。私も元気に通っています。岩室の帰りまた顔を見によりますね、だって。いや、ときどきお土産とおしゃべり(笑)を持ってきてくれて嬉しいね。

●岐阜県中津川市の早川裕康メダカ。YouTubeなど、ぜひ動画アップして欲しい。己書を楽しんでいます、だって。YouTube動画、今埋田干聡メダカと検討しています。9月の第124回からできるというね。

●長野県飯田市の玉置洋一メダカ。南信濃の「かぐらの湯」が来年秋に、グランドオープンします、だって。楽しみだね。三遠南

信道が全面開通すれば、まさに北の表玄関だね。

●掛川市の鳥山剛メダカ。森町、川根町、吉田公園、三倉地区、大東土方地区などにふじばかまを提供したり、岩村町との交流復活をして来ましたが、それぞれの地区におまかせして、これからは家庭菜園などでのんびり過ごすことに生き方を変えまして、だって。みなさん残念がると思うけど、それもいいかもね。

●磐田市の草地博昭メダカ。子どもが捕まえてきたり、もらってきたりしたメダカとクワガタのお世話に、毎日いやされてます、だって。市長としての多忙な日々、そんないやしの時間があってもいいね。黒や白、茶や光ってるメダカの方にも顔出してね。

●浜松市浜名区浜川の小林成彦メダカ。元気な男の子が誕生したんだって。良かったね。男の子3人だっけ?。お父さん、益々忙しくなるね。(笑)

●静岡市清水区の花井孝メダカ。自らの加齢を自然環境のせいにして…。年寄りには年中、心身共に疲れるのです。決して氣候のせいではありません。車でも中古車と言わなければ大古車、価格はつかずには廃棄物手数料を取られます。廃車寸前の秒読みで…。世間様はよくしたもので、お金のかららない廃車寸前組に声が掛かります。例によって寸又峡温泉には月1回の賑わい創造会議に行っておりま。大井川SL鉄道不通とコロナのワンツーパーチによって♫はダウン寸前です。賑わいを戻す特効薬も発見できずに困っております。例によって行き帰りは山道のヒルクライムです。タイトコーナーに出会う度に、私の中の人格が目覚めてアウトラインアウト、ドリフトでコーナリング。まだ俺も捨てたもんじゃなエー、と自画自賛…。安全のために謙虚さを忘れてしまうと、人間も車も廃

車に…。でもそれで再生できるかも「廃車復活」を狙っております。謙虚さを忘れる、と「検拳」されます。相変わらずの「親爺ギャグ」に命懸けて、家族、世間様のヒンシュクを載っています。「バラさんからメダカを取ったら、なにも残らない状態」に良く似たものかも…。登校日には「めだか命」のバラさんの爺じいぶりを観て安心をするために出席する方向です、だって。いや、共に爺じいぶりがいいねえ。なんせ200回までやるんだから。ハイ。

●浜松市引佐町の石野省三メダカ。NPOで主催する「鎮スマ。cafe」の紹介!「鎮cafe」にて昼飯を食べながらスマホの初歩を楽しく語り合います、7月と8月の2回を計画。「動画や写真を撮りたい!LINEでテレビ電話がしたい!ネットで面白い物がしたい!予約をした!」など「自然をバックにストレスゼロでしゃべり場になることを狙って!会費千円、要予約。どんな出会いがあるか楽しみです。

「寄付」
●浜松市の藤波公子メダカと三島市の野村諒子メダカから寄付をいただきました。また袋井市の山中幸子メダカからは50円切手10枚をいただきました。ありがとうございます。感謝です。

××× ×××

もっともつと伝えたいが、紙面の都合で今回はこれまで。お手紙ちようだいね。

《お知らせ》

めだか春秋は今回お休みします。次回に『ひさかた風土舎通信』廃刊、を掲載します。

■事務局だより

暑い日が続きます。お元気ですか？年をとると体調管理も大変。扇風機と天然クーラーで過ごそうと思っただけ、この暑さでは無理でした(笑)。

さて、第123回めだかの学校は、令和6年6月1日。今回はちよっと変則なことやハプニングがあって。まずは校長訓話、通常10分を20分に。特別授業1時間を1時間10分に。司会進行役の鈴木眞弓教頭、名古屋で美術展打ち合わせのため欠席、代理は山中幸子メダカに。校歌斉唱は埋田千聡メダカ遅れて間に合わず、若尾和孝メダカがギター伴奏で。いつも受付をやってくれている大橋町代メダカが欠席で、大島たまよメダカが大場敬子メダカと、新入生は今回のみ森町の久米眞弓さん。いつも40個注文のお弁当、ドタキャンなどもあって余って、バラメダカと淑友メダカ、プラス2個ずつお買い上げ、他の人も買ってくれましたが(笑)。

はてさて、美味しい給食の後は、全員の写真撮影。『ニイスイ!!』ハイパチリ。13時からの歴史大好きな小山展弘校長の訓話「私たちは自分の住んでいる町や土地の徳やドラマをよく見ているでしょうか?」遠州地方には国分寺を始め、神社仏閣、徳川家康や今川義元、今川了俊など、勇将、名将など話



題性にこと欠かない。歴史や文化などの地域資源をまちづくりに活かす観点から、南北朝の統一に貢献し、九州を25年間治めた名将で文化人でもある遠州ゆかりの今川了俊の講演会を6月23日に開講するのて来て!」など語る。事務局からは第124回めだかの学校便りに、みなさんの意見も聞きたい、と、出欠返事と併せたハガキを同封する。12月の第125回号にまとめて特別号として発行する、などを説明。

13時30分からの1時間10分の特別授業、理科「フタバガキから始まる花物語」木村智子先生。プロジェクトを使って。主人の転勤でシンガポールへ。試験を受けて国立シンガポール植物園の職員に。熱帯雨林が暮らしてどう関わりがあり、日本とシンガポールを比較しながら生物の多様性などについて映像で説明。帰国後にはスポーツ公園の改修に関わり、ワークショッブをしながら、今では小さなコミュニティを形成している、と。また浜松市中郡町では、元庄屋で旧鈴木家の所有者から「市民の憩いの場に欲しい」と、4000坪の土地と建物が無償提供されて、旧鈴木家保存会や市民、行政などと何度もワークショッブを開きながら、企業にも入ってもらって傷んだ建物もリフォームして、カフェも併設した『万斛庄屋公園』づくりに関わったり、180年の歴史のある知的障害施設、滝乃川学園の『記念ガーデン』など、映像を通してながら説明。締めは浜松市から委託された「ガーデン講座」の受講生の募集。いい授業だった。またやろうね!とは。



2時40分からの私語飲食全て禁止の『次回3役の発表』。長年縁の下の力持ち

の3名。それぞれの貢献を説明しながら、校長大橋町代、教頭服部守孝、用務員伊藤英雄。大橋校長は欠席のため、水村春江メダカが代理する。

最後は前の方に集まって、手をつなぎながら『今日の日はさようなら』を歌いながら握手してお別れ。おしゃべりはつきないが再会を約束しつつ。仲間はいいいねえ。

第124回めだかの学校職員会議を、7月13日(土)10時から、学舎で開く。出席者は大橋町代校長、服部守孝教頭、伊藤英雄用務員、鈴木眞弓、大島たまよ、埋田千聡、中村明男、榊原淑友、榊原幸雄の8名。校長あいさつの前に榊原淑友メダカが小園神社限定の『開運招福 こづち』のモナカを持ってきてくれたので、それを頂いてから進めることに。ご利益があつたか、大橋校長あいさつのと、32期通年テーマと今回のテーマを話し合う。通年テーマは、黒板に28期から31期までを書いて、申込書や手紙などには『継続』の言葉が多かったので『継続』の方向で進める。そんな中、ちょっとひねって『線路は続くよどこまでも』からいただいて、『めだかは続くよどこまでも』。いいね、と決める。受けて今回のテーマは『暑さも乗り越えて』に。授業の方は、期初特別授業で村松達雄メダカの話の意見もあり、村松達雄メダカに。内容は本人に確認のうえ、社会「報徳と鈴木藤三郎と台湾と」に。開運招福こづちのリズムに乗ってスイスイと。YouTube動画やFBなどで配信も検討中です。



(事務局バラメダカ)

■第32期の受付を始めます。

第32期は令和6年9月1日から令和7年8月31日までです。毎年手続きが必要です。まだの生徒には再度申込書を同封しますので、8月31日までに提出か、9月7日の開校日に提出してください。忘れないうね。

■今回も遅れました。ごめんなさい。

いつも生原稿のメール打ちの石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、秋山勝則メダカ、大島たまよメダカ、埋田千聡メダカ、水島加寿代メダカ、村松達雄メダカ、写真撮影の横山忠志メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さん、ありがとう。感謝!!。

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和6年11月1日予定。締切10月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBでメールの方は、

《navun_f100@gmail.com》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(アドレスが変わりました。まだ昔のアドレスも可。)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一
宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午前11時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

